

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 交通対策課長 伊藤 宏 電話番号 0852-22-5898

事務事業の名称	交通事故相談所運営事業	
目的	(1) 対象	交通事故被害者等
	(2) 意図	被害者及びその家族等の抱える問題の解決を助け、悩みを軽減する。
事業概要	交通事故被害者対策として、交通事故相談所を松江市、浜田市に設置して相談員2名を配置している。出雲市、大田市、益田市、隠岐の島町の4か所において、巡回相談を実施し、相談者の抱える問題の解決に当たっている。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	相談者の満足度	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		90.00	90.00	90.00	90.00	
式・定義	アンケートにより、相談が役に立ったとする相談者の比率	達成率	実績値	100.00	91.40	78.00	95.24		%
			達成率		101.60	86.70	105.90		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	5,731	6,035
うち一般財源(千円)	5,731	6,035

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度の相談件数は323件で、昨年度に比べ9件減少（▲2.7%）で、全国平均※（▲6.7%）より減少幅が小さかった。 ※都道府県十政令市相談員1人当たりの相談件数は161件であり、全国平均253件より少なかった。相談内容別では、賠償問題が73.0%と最も高く、ケースに応じた的確なアドバイスが求められている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 相談者のニーズに的確に対応できるよう、相談員の積極的な研修会への参加や自己啓発など、相談員のスキル向上を図った。
- 関係機関や団体等とも連携しながら、相談者が満足を得られるよう丁寧な相談活動に努めた結果、アンケートで「相談が役に立った」と答えた相談者の割合が増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

交通事故相談所や巡回相談所の利用が伸びない。

②困っている状況が発生している「原因」

交通事故相談所がまだ十分に県民に知られていない。

③原因を解消するための「課題」

交通事故相談所の設置や巡回相談の運営について、市町村等と連携を取りながら広く県民に広報していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

市町村や関係機関、団体等と連携し、県民の身近な相談窓口として利用していただけるよう周知を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）